

さいたま市の安全は協会が担う 令和3年度総合防災訓練に参加 連携強化し意識を高揚

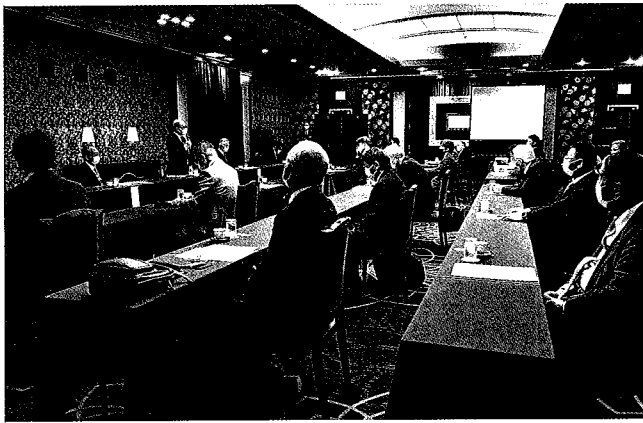
令和3年度さいたま市総合防災訓練が3年11月6日午前9時30分から、さいたま市桜区の荒川総合運動公園で開かれ、当協会からは浦和支部の12人が道路啓開訓練に参加協力した。

訓練は、さいたま市を震源とするマグニチュード7.3、最大震度6強の直下地震が発生したと想定。①自助による防災・減災意識の高揚②共助による連携意識の醸成③応急・復旧対策の習熟④関係機関との相互連携の強化、を訓練の基本方針とし、66機関が参加した。

道路啓開訓練は埼玉県レッカー事業協同組合と共同で実施。午前10時30分過ぎに、「ただいま入場してきましたのは、一般社団法人さいたま市建設業協会・土木部のダンプトラックとホイルローダーです。緊急輸送道路確保のため、瓦礫の除去を行います」のナレーションで、車両とともに協会の作業員が入場。ダンプに瓦礫を載せるなどの除去作業を約18分で実施した。



令和3年度第2回理事会開く 4年度予算案などを協議



令和3年度第2回理事会が3年12月7日午後4時から、ロイヤルパインズホテル浦和で開かれ、令和4年度予算案・事業計画案などを審議。各支部・委員会の活動について報告を受けた。

会の冒頭、斎藤会長は、「資材の高騰など、新型コロナウイルスの影響は建設業にも出ており、大変な時期だが知恵を絞って対応していただきたい」とあいさつした。

【議案】

細則変更(案)について

細則の変更案を説明、承認された。変更の内容は、『5.定款第12条に基づく役員』において、「正副会長、支部長及びその経験者が、理事の職を辞する場合、後任の役員については、当該会社の新任の代表者(代表取締役)を役員候補者とし、次の総会に於て決議選任する。」を明記。『6.定款第16条に基づく相談役及び顧問』において、「(3)相談役及び顧問は、必要に応じ、理事を兼ねることが出来る。但し、役員は1社1名とする。」を追加、など。加えて、新たな入会申込書の記載事項を確認した。

令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

6項目を柱とする令和4年度事業計画(案)を説明し承認された。

【経営基盤の強化】

▽時代とともに変化する、社会の要請を的確に捉え、自律性、創造性を向上させ、地域社会の期待に応える企業を目指す▽「労働災害防止」を最優先に、常に環境保全を心掛けると共に、地域住民への配慮に努める▽諸法令の遵守、企業倫理憲章を基本とし会員の資質の向上とイメージアップに努める

【各種委員会活動】

▽各委員会を中心に、それぞれの専門分野で、必要性のある活動を推進する▽建設業協会を取り巻く諸問題に対して積極的に対応して、協会の基盤強化を図る

【要望活動】

▽安定的な経営に向け、積極的に行政機関へ要望・提言を行い、地域建設業の振興と地域社会の発展に寄与する。

【大規模災害への取り組み強化】

▽災害時における、動員体制、活動について本会会員への周知に努める▽災害時における被害の拡大防止及び被災施設の早期復旧に努める

【関係諸団体に対する協力】

▽公益性のある諸事業に対し、積極的に協賛及び参加等を行う

【その他、本会の目的達成のため必要な事業を行う】

また、令和4年度予算(案)を説明、承認された。令和4年度の収入は令和3年度に比べ30万円の増額となる見通し。約922万円の繰越金が生じる見込み。コロナ禍における賀詞交歓会の中止などで今後、さらに修正が発生する見通し。賀詞交歓会中止に関しては、代わりに全会員に挨拶状付きの粗品を送付する予定。支出に関しては、令和3年度に比べ30万円増の3810万円を見込む。安全推進費(安全安心隊更新)、印刷製本費(役員改選関連)などの増加が見込まれる。

【報告】

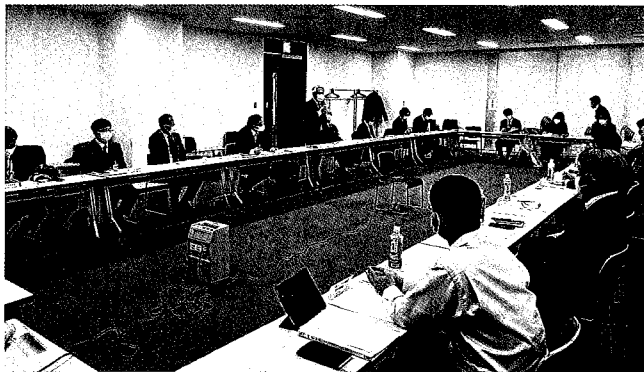
ホームページについて

開設を予定している協会ホームページについて、現状のデモ画面をプロジェクターを用いて紹介した。令和3年度中に開設する見通し。

各支部・委員会の活動について(各支部長・委員長報告)

総務企画委員会が、定款の変更、HPの作成など。社会貢献委員会が、防災訓練への参加など。環境委員会が環境資格に関するアンケート調査と勉強会の企画など。土木委員会がASP講習会(12月17日)、市との意見交換会(12月23日)など。建築、電気、設備委員会が合同の市との意見交換会(令和4年1月18日)などの委員会活動を報告した。

土木部門・市との意見交換会開く ASP、CCUSの進め方など



当協会土木部門とさいたま市との令和3年度意見交換会が、3年12月23日午後2時から浦和コミュニティセンター集会室で開催された。協会側は土木委員会の猪股委員長など委員会から10名、市側は建設局南部建設事務所の都筑英幸次長など建設局の各事務所、各課から9名が出席した。

冒頭、猪股委員長は、「どうすればさいたま市と共存共栄できるか、市の求めているものをどう還元できるかを考えていきたい」とあいさつ。都筑次長は、「組織の枠に捉われない意見の交換により、受発注者の意思統一を図り、地元建設業者の健全な発展につなげることができれば幸いだ」と語った。

協議の概要は次の通り。

■市のデジタルトランスフォーメーション(DX)について

北委員が、「市としてDXをどう進めるか」と質問。市側は、「市のDX推進に向けた当面の重点事項で、工事監理におけるデジタル活用検討が位置付けられている。関連費用を来年度の予算要望に盛り込んだ」とした。ASPに関しては、「今年度、2件ほど試験的に実施している。どのように使えるかの参考にしたい」。また、今年度に工事関係書類の押印を廃止したことなどを説明した。

富田委員は、「さいたま市の公共工事(土木関係)に対するアンケート」によりASPへの協会の認知度が低いことが分かったとし、意見交換会の前に勉強会を開催。その結果、導入に前向きな意見が大幅に増えたことなどを示し、市側の考えを問うた。市側は、「やれる環境は整えておきたい」「遠隔臨場はまだ課題が多い。普及は段階的になるのでは」とした。

■働き方改革について

田中委員が、主に「長時間労働の是正」について意

見交換したいと働き掛けた。具体的には、「週休2日ステップアップ工事(受注者希望型)の対象は」と問い、市側は、「現状で工期1カ月未満の工事などを除き基本的には全ての工事が対象となるが、諸事情から達成できない現場も散見される」「令和4年度には発注者指定型に拡大していきたい」などと答えた。また、受注者側の取組事例を紹介した。

■市からのアンケート結果より

島田副委員長が、市からの要請で実施した「さいたま市の公共工事(土木関係)に対するアンケート」の結果を説明。ICTや建設キャリアアップシステム(CCUS)の進め方を聞いた。市側は、ICTについて「実施しやすいところから進める」。CCUSについて「工事評点の加点、導入費用の補助など他自治体の事例を研究している」などと応えた。

■その他、会員からの意見等

協会側からは、適切な設計変更などを要請。市側からは不調不落の要因などについて請負者側の意見を聞いた。市側は「単年度主義はなくなりつつある」などとし、工期などの問題について改善を進めていく姿勢を示した。

工事情報共有システム勉強会開く さいたま市の導入に備え



あいさつする片山副会長(上)、猪股土木委員長(下)

工事情報共有システム(ASP)勉強会が令和3年12月17日午後1時30分から建産連研修センターの大ホールで開催され、会員企業60社の約90名が参加した。

開会にあたり片山副会長は「建設業でもデジタル化は不可欠。勉強会を有意義なものにして頂きたい」とあいさつ。猪股土木委員長は「ASPの導入がスムーズに進むよう勉強会を企画した」と開催目的を語った。

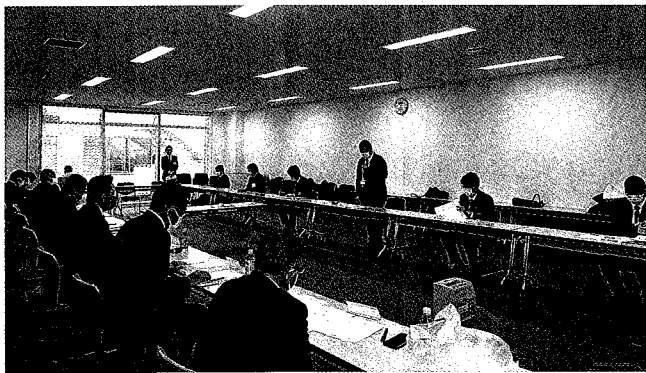
勉強会ではまず、さいたま市技術管理課の森谷主査が、「さいたま市における建設業のデジタル化の状況について」を説明。「遠隔臨場による時間の短縮、工事

書類の電子化をASPにより実現したい」とした。ASP導入は、さいたま市行政デジタル化計画の一環に位置付けられる。4年度から試行を開始し、6年度から本格運用（遠隔臨場含む）する想定スケジュール。

「工事情報共有システム(ASP)について」は、現場サポートの北野氏が説明。他発注機関の活用状況などを紹介した上で、ASPでできることとしてスケジュール管理、掲示板機能、発議管理機能（決済書類の回覧）、電子納品機能、などがあるとし、その操作方法を説明。先行している埼玉県のユーザーの声も紹介した。

その後、松永副会長が閉会のあいさつし終了した。

建築、電気、設備— 3委員会合同意見交換会 働き方改革と入札制度



建築、電気、設備—3委員会合同の「令和3年度さいたま市とさいたま市建設業協会との意見交換会」が令和4年1月18日午後2時から浦和コミュニティセンターで開催された。当初、全体会議と分科会（建築、電気、設備）の2部制での実施を予定したが、コロナウィルス感染症対策として分科会は先送りとなった。

市側から高木建築部次長、浅野営繕課長、金子保全管理課長、安部設備課長、相上契約課長、高橋技術管理課長が参加。協会側からは、首藤副会長（建築・電気部門）、松永副会長（設備部門）、岡村電気委員長、大原設備委員長、沼尾建築副委員長、松永建築副委員長、郡司電気副委員長、飯沼設備副委員長が参加した。冒頭、高木建築部次長と首藤副会長が「実施まで2年を切った建設業の時間外労働の上限規制への対応を市と協会が連携して進めたい」とあいさつした。

意見交換会は、「働き方改革」と「入札制度」がテーマとなった。松永建築副委員長は、週休2日試行工事

の実施スケジュールなどを問うた。これに対して市側は、令和3年度に営繕工事全体の50%程度が週休2日の試行対象（受注者希望型）となる見込みであることを説明。DX、ASPなど工事のデジタル化は、令和4年度予算編成で機器関係等の予算を要望しており、埼玉県や国土交通省関東地方整備局などの動向を見ながら対応する考えを示した。また、工事発注・施工の平準化は学校関係などでは難しく、市全体の意識改革が必要とした。

岡村電気委員長は、3工種の入札で、1工種が不調になると他の工種の入札が中止になってしまう状況の改善策として早期の再公告を提案。これに対して市側は、「できるだけ速やかに再発注し、可能な限り市内本店業者に限定している」とし、入札制度は適時見直していきたいとの考えを示した。

大原設備委員長は、一抜け方式の更なる運用拡大を要請。これに対して市側は、不調不落対策として開札日をずらすことを一部実施しており、今後も状況を見ながら対策を施したいとした。

意見交換後、松永副会長が、会開催への感謝の言葉を述べ閉会した。

協会日誌（令和3年9月～ 令和4年2月）

- 令和3年 **10月** 4日—第2回電気委員会（建産連研修センター） 11日—第2回建築委員会（建産連研修センター） 21日—第2回設備委員会（県空調衛生設備協会） 25日—第2回土木委員会（建産連研修センター） 27日—優秀建設工事業者表彰式（ときわ会館） **11月** 5日—第1回総務企画委員会（建産連会館） 6日—市・総合防災訓練（荒川総合運動公園） 16日—第3回正副会長・支部長会議（ロイヤルパインズホテル） 26日—第1回建築・電気・設備正副委員長合同委員会（建産連会館） 30日—土木・市との意見交換会出席委員打合せ（建産連研修センター） **12月** 7日—第2回理事会（ロイヤルパインズホテル） 17日—工事情報共有システム(ASP)勉強会（建産連研修センター） 23日—市との意見交換会（土木部門）（浦和コミュニティセンター） **令和4年 1月** 17日—さいたま市長への新年挨拶（さいたま市役所） 18日—市との意見交換会（建築部門）（浦和コミュニティセンター） **2月** 16日—第3回土木委員会（建産連研修センター） 21日—第3回環境問題委員会（建産連研修センター）

各委員会(令和3年9月～令和4年2月) 意見交換会を準備決算を協議

総務企画委員会(北委員長)



令和3年度第1回総務企画委員会が、3年11月5日午後2時から建産連会館の特別会議室で開催され、令和3年度決算(見込み)などを協議した。

「定款・細則変更(案)について」では、細則において、役員規程、相談役及び顧問の規程を加筆・修正。入会申込書の変更などを実施。「令和3年度決算(見込み)及び令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)について」では、決算で900万円台の次期繰越金が発生することなどを説明。委員会活動予算の組み入れ項目変更などの意見があったため、修正後、正副委員長会議などを経て理事会に諮る。「ホームページの確認について」では、仮ホームページを各委員のスマートフォンなどで確認した。

環境問題委員会(宇津城委員長)

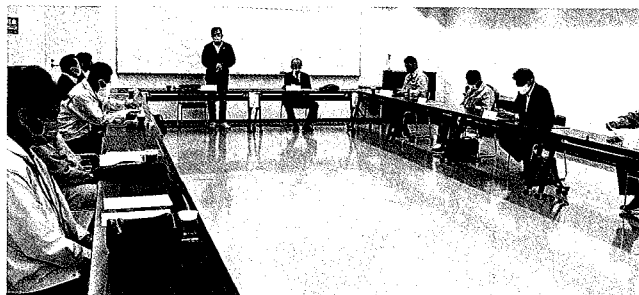


令和4年2月21日午前10時から、建産連会館特別会議室で令和3年度第3回委員会が開かれ、環境認証(EMS)勉強会開催に向けた今後のスケジュールと役員改選に伴う正・副委員長の選任について協議した。小倉洋司氏(大洋建設)が今回から委員として出席した。

アンケート調査の結果、回答企業の7割以上がEMSを未取得であり、その7割以上が勉強会に興味があることが判明。今後、6月上旬をめどに勉強会を開くことを確認した。

令和4年度の委員長には富田現副委員長、副委員長には宇津城現委員長と小倉委員を選任する方向。

土木委員会(猪股委員長)



令和3年度第2回土木委員会が、3年10月25日午前10時から建産連研修センター201会議室で開催され、さいたま市との意見交換会のテーマ、市から依頼のあったアンケート調査の内容などを協議した。

まず、意見交換会の参考になるよう、市から依頼されたアンケートの案の内容について説明。これに、市への要望、意見を協会側で加え委員会メンバーに対してメールで送付する。また、「工事情報共有システム(ASP)勉強会」を開くことを提案し了承された。

次に意見交換会のテーマについて協議。あらかじめ事務局らがまとめた骨子を説明した。

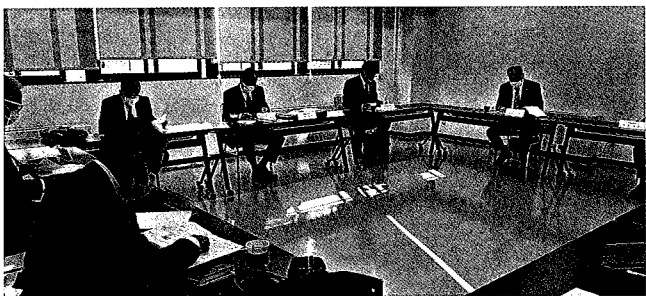
3年11月30日午前10時には建産連研修センター201会議室に関係者が集まり、意見交換会の進め方、テーマなどを協議し、案をまとめた。

市からの依頼で実施したアンケートの結果では、Sランクなど上位ランクの会員の一部はASPの実績があり、メリットも感じているものの、B、Cランクの会員からは関心が薄い傾向があり、下位ランク業者の関心を高める必要性などが明確になった。このアンケート結果などを基に事務局などが市の担当者と調整を行った上で、意見交換会の議題案等をまとめ、テーマを①市のデジタルトランスフォーメーション(DX)について②働き方改革について③市からのアンケート結果より④その他会員からの意見、とすることを提案。基本的な合意を得た。

4年2月16日には建産連研修センター101会議室で第3回委員会を開催。3年12月23日に開いた市との意見交換会の結果を報告。役員改選に伴う正・副委員長の選任について協議した。今回から新たな委員として阿久津委員(岩槻支部)が出席した。

意見交換の内容は協会員全体に発信するため、新設する協会のホームページに載せる方向。正副委員長は再任となる方向だ。

建築・電気・設備合同委員会



令和3年度第1回建築・電気・設備合同委員会が、3年11月26日午後2時から建産連研修センター202会議室で開催され、4年1月に開催予定のさいたま市との3委員会合同意見交換会に向け、議案を調整した。

意見交換会は2部構成とし、第1部は3委員会合同の意見交換を行い、次に委員会ごとに分かれ分科会方式で、各工種特有の問題を中心に意見交換する。これまでの各委員会の話し合いの内容を基に、第1部、第2部の提案議題を協議した。(実際の意見交換会ではコロナ禍で1部のみの開催となった)。

建築委員会(川村委員長)



令和3年度第2回建築委員会が、3年10月11日午後2時から建産連研修センター101会議室で開催され、3年7月8日に開催した市との意見交換会で建築委員会として提案した議題の報告、次回の意見交換会の協議などを行った。

まず、事務局が、さいたま市との意見交換会(電気、設備を含め3委員会合同)では、コロナ禍での対処として時間を短縮し1部構成とし、参加人数を絞った上で、働き方改革、入札方式、議会案件の基準—の3テーマに絞り、各委員長が提案説明を行ったことを説明。川村委員長は、「働き方改革について」を担当した。

次に、次回の意見交換会に向けて、取り上げるべき課題を委員に問うた。「テーマは例年ほぼ決まっているが、掘り下げていくことが必要」「働き方改革について踏み込んでほしい」「公共工事(建築)の方向性を示してほしい」などの意見が挙がった。

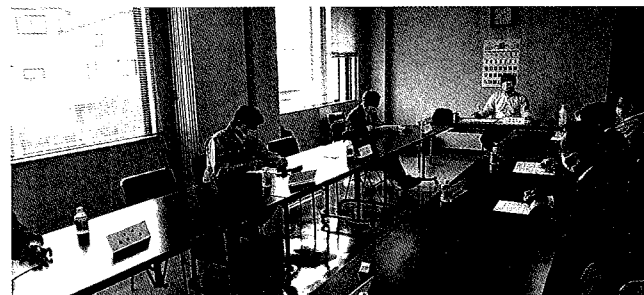
電気委員会(岡村委員長)



令和3年度第2回電気委員会が、3年10月4日午後3時から建産連研修センター201会議室で開催され、7月8日に開催した市との意見交換会で電気委員会として提案した議題と市側からの意見の内容を説明。次回の意見交換会での提案議題などについて協議した。

事務局が、意見交換会(建築、設備を含め3委員会合同)の概要を説明。岡村委員長は議会案件の基準を現状の3億円から5億円に引き上げることなどを要望した。これらを踏まえて、次回の意見交換会に向けて、取り上げるべき課題を委員に問い、得た意見を踏まえて、次回の意見交換会の内容を3委員会で検討していくことになった。

設備委員会(大原委員長)



令和3年度第2回設備委員会が3年10月21日午前11時から、埼玉県空調衛生設備協会会議室で開催され、7月8日に開催した市との意見交換会で設備委員会として提案した議題の報告、次回の意見交換会の協議などを行った。協議の前に、大原委員長から、今年度のさいたま市の不調案件について状況説明等があった。

事務局が、意見交換会(建築、設備を含め3委員会合同)の概要を説明。大原委員長は「入札方式について」を担当。一抜け方式の拡大などを要望した。

次回の意見交換会での提案議題については、設備委員会として、①管工事Aランク最低額の引き上げによるAB混成入札拡大②年度当初の早期発注③不調時の再公告を同一案件で早期に再発注④市内本店の限定⑤積算内容の再確認—を提案議題候補とした。

第16回さいたま市優秀建設工事業者表彰 会員施工の10工事(JV含む)に

さいたま市は令和3年10月27日午前9時30分から、ときわ会館5階大ホールで「市誕生20周年記念 令和3年度(第16回)さいたま市優秀建設工事業者表彰式」を開催した。

主催者を代表して清水市長が、「地域の安全安心を守り、豊かな生活を支える建設業の次のステージへと飛躍すべく、担い手の中長期的な育成・確保に向け、働き方改革・生産性向上などに市としても積極的に取り組んでいくので、より一層のご理解・ご協力をお願いする」とあいさつした(写真①)。

表彰対象はさいたま市発注で令和2年度に完成した請負金額500万円以上の753件の建設工事の中から、市内に本店を有するもののうち、工事成績評定点が優れた13工事を施工した延べ13社(JV含む)が選定された。このうち、9工事の施工14者(一部重複)が会員企業(JV構成員含む)。また、技術者部門では、土木工事部門で8名、建築工事部門で7名、水道工事部門で3名が表彰された。加えて、今回は市誕生20周年記念として、次世代を担う若手技術者(35歳未満)2名の特別表彰を実施した。とだか建設の布施優さんと、吾妻工業の板倉隼介さんと、ともに会員企業からの受賞となった(写真⑫)。

【土木工事部門】

- ◆杉本土建工業(②)＝道路修繕工事(R1一般県道北浦和停車場線外)
- ◆ケイワールド日清(現在は日清建設)・松永建設特定共同企業体(③)＝大宮駅西口デッキ補修工事(その2)
- ◆ユーディケー・武蔵野技建特定共同企業体(④)＝学校橋橋梁拡幅工事(その2)
- ◆とだか建設(⑤)＝吉野陸橋補修工事(その2)
- ◆日清建設(⑥)＝鶴巻IC橋梁下部工補強工事(H31)

【建築工事部門】

- ◆吾妻工業・和光建設・共成建設特定共同企業体(⑦)＝市営道祖土戸崎団地建設(建築)工事
- ◆八洲電業社・毛塚電気工事特定共同企業体(⑧)＝浦和駒場スタジアム照明灯改修工事
- ◆中島建工(⑨)＝大宮西部図書館中規模修繕(建築)工事

【水道工事部門】

- ◆新研設備工業(⑩)＝老第3193号布設替工事
- ◆タカセ工業(⑪)＝老第3189号布設替工事

受賞者等の写真



さいたま市に新年挨拶回り 市長・副市長らと懇談



清水市長と懇談

副市長と懇談

当協会役員らによる、令和4年のさいたま市役所新年あいさつ回りが、4年1月17日午後2時から行われた。

当日は、斎藤会長をはじめ、副会長、支部長、計7名が参加。日野副市長、高橋副市長、小川副市長と懇談した後、市長室で清水市長と懇談。その後、財政局、建設局、都市局の各部を訪問した。清水市長とは、新年のあいさつを交わした後、新型コロナ禍における行政の対応、建設業の現状などについて懇談した。

協会HPが開設 活動を市民に発信、会員の利便性向上

一般社団法人 さいたま市建設業協会



活力ある魅力的な建設業を目指して、日々協会員一同邁進しております。

令和4年3月より一般社団法人さいたま市建設業協会のホームページを開設しました。

公開スケジュールや会員用ページにアクセスするためのID、パスワードは、事務局より各社にメールにてお知らせいたします。

トップページは「HOME」「協会案内」「最新情報」「会員一覧」「様式ダウンロード」「お問い合わせ」の項目で構成。さらに、下スクロールにより各項目にアクセスできます。

外部向けと協会員向けの内容に分かれており、一般の方にはNEWS欄で防災訓練などの協会活動を発信

します。協会だよりはバックナンバーを含めて最新のものまで外部を含めて閲覧できます。お問い合わせページでは、必要事項を入力後、事務局への問い合わせが可能となっています。会員用には、ID、パスワードの入力により事務局から会員各位へのお知らせなどを閲覧できます。また、様式のダウンロードができる項目があり、定款、細則、防災協定の様式集などを入手できます。

アドレス

<https://saitamashi-kenkyo.com/>

QRコード



企業倫理憲章

私たち会員企業は、豊かさが実感できる、全国13番目の「政令指定都市 さいたま市」の創造的な都市基盤整備の担い手であることを誇りとし、積極的に企業倫理や社会的責任を果たしていくことを誓います。

私たち 会員企業は

1. 諸法令を遵守し、公正な企業活動と経営に努めます
1. 美しい自然環境との共生、循環型環境社会の構築に努めます
1. 経営者の倫理観として、常に企業活動の説明責任に努めます
1. 優れた技術者集団として、社会的責任を果たすとともに、技術の研鑽に努めます
1. 地域社会の一員として、積極的に社会貢献活動に努めます

事務局からのお知らせ

◆理事会、通常総会の開催予定

令和4年度第1回理事会を4月18日午前中に、通常総会を5月25日午前中に、ともにロイヤルパインズホテル浦和で開催を予定しています。

発行所 (一社)さいたま市建設業協会
編集委員会

〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋4-1-7 (建産連会館 5F)
E-mail : 本部 hombu@saitamashi-kenkyo.jp
事務局 jimukyoku@saitamashi-kenkyo.jp

TEL : 048 (863) 3203
FAX : 048 (863) 1794